

即時発表用

R&A と USGA はエリート競技で使用されるゴルフボールのためのローカルルールひな型 (MLR) の選択肢を導入する提案を発表

ゴルフボールのテスト条件の変更案

エリートプレーヤーを対象としており、大多数のゴルファーには影響しない

現時点ではエキップメントスタンダードのジェネラルルールへの変更なし

2023年3月14日、セントアンドリュース、スコットランド及びリバティーコーナー、N.J., USA :

R&A と USGA はゴルフにおける飛距離の影響に対処するため、修正された打ち出し条件に基づいてテストされたゴルフボールの使用を要求する選択肢を競技の主催者に与えるローカルルールひな型 (MLR) を提案しました。

この MLR はエリート競技でのみ使用されることを意図しており、採用された場合でもレクリエーションゴルフには全く影響しません。

この提案書の通知 ([こちら](#)から閲覧可能) は、2011年に統括団体によって規定された用具規則制定手続きに従って、昨日ゴルフ用具製造業者に送付されました。製造業者やゴルフの利害関係者は2023年8月14日までフィードバックを提供することができます。採用された場合、この提案は2026年1月から実施されることになるでしょう。

この MLR に適合するゴルフボールは、この提案の一部としてのクラブヘッド速度 127mph、11度、37回転/秒 (2220rpm) となるキャリブレーションセットアップに基づく修正された実際の打ち出し条件 (ALC) において、現行の標準総合距離 (ODS) の制限である 317ヤード (プラス3ヤードの許容値) を超えてはなりません。

遅いスイング速度のレクリエーションゴルファーが通常使用するボールを含め、その他のすべてのゴルフボールは現行の ALC 値 (120mph、キャリブレーションセットアップ 10度、42回転/秒 - 2520rpm) を用いて引き続きテストされることになります。現行の 317ヤードという ODS 制限に変更はなく、両方のテストのセットアップに適用されるでしょう。

標準総合距離 (ODS) は、現在ゴルフをプレーしている最も遠くにボールを飛ばせる人たちの潜在的な最大飛距離を反映することを意図したボールテストとして 1976年に規定されました。

クラブヘッド速度と飛距離の間には正相関があります (さらなる研究はディスタンスインサイトレポートで発表されています)。過去 20年間で飛距離は平均して毎年約 1ヤードずつ増加してきました。

この MLR 案での修正されたテストのセットアップは、最も速いクラブヘッド速度を有するロングヒッターたちについて、飛距離を平均で 14~15ヤード減じることが見込まれます。

R&A チーフ・エグゼクティブのマーティン・スランバース氏は、「私たちはこの過程を通じてゴルフ産業界と緊密に連携し、彼らの意見に慎重に耳を傾け、提供された有益で建設的なフィードバックを反映することに時間をかけてきました。私たちの提案の根底にあるのは、盛況であるレクリエーションゴルフへの影響を最小限にしたいという願望です。私たちはこのローカルルールひな型 (MLR) の提案は、ゴルフに内在する本質を保護し、コースを長くするというプレッシャーを減じる方法で私たちが前進することを支援すると信じています。これはゴルフにとって重要な問題であり、ゴルフがそのユニークなチャレンジと魅力を保っていくならば対処する必要があることです。」と述べています。

「ゴルフのエリートレベルでの飛距離は過去 20 年間、40 年間、そして 60 年間にわたって一貫して増加してきました。私たちがボールの飛距離についてテスト標準の再検討を最後に行ってから 20 年が経過しました。予測可能で継続する飛距離の増加は、速やかに対処しないと次の世代にとって重要な問題となるでしょう。私たちが提案するこの MLR は、施行するのは簡単で、将来を考慮したものであり、レクリエーションゴルフには一切の影響なしに施行できます。」と USGA の CEO であるマイク・ワン氏は述べています。「私たちは何よりもまずゴルフ全体にとって正しいことをするということに導かれ、この過程の次のステップを踏み出しています。」

統括団体はディスタンスインサイトプロジェクト（始まったのは 2018 年であるが、少なくとも過去 20 年にわたる継続的な研究）を通じて、ゴルフ産業と綿密に協議してきました。今回は、ゴルフ全般に及ぶ利害関係者（ゴルファー、ファン、競技主催者、用具製造業者、ゴルフコース所有者、スーパーインテンドント、設計家、その他を含む）の継続的な関与に加え、過去 5 年間で 4 回目となる正式なフィードバック期間の始まりとなります。

製造業者から受け取ったフィードバックに基づき、R&A と USGA は適合性を評価するために個々の各ゴルフボールのモデルに最適化された打ち出し条件の使用をもはや検討しません。同様に、R&A と USGA は現時点で現行のエキップメントスタンダードでのドライバーの特性時間の上限の減少や慣性モーメントの変更を進めていません。

R&A と USGA は飛距離の増加とコースを長くしていく長期的な傾向（ゴルフの長期的な持続可能性を脅かし、幅広くバランスの取れた一連のプレー技術がゴルフにおける成功の主要な決定要因であり続けるべきというコア原則を弱体化させると考える）に対処することに着手しました。

統括団体による距離についての広範囲の研究結果は、（それを支える研究やデータと共に）2020 年 2 月のディスタンスインサイトレポートの中で発表され、2 つの主要なテーマ（距離を伸ばし続けるというコースへのプレッシャー及びゴルフにおいて必要とされる技術のバランスの点で飛距離が支配的にならないようにする）に基づいて「飛距離の影響」に収録されました。また、このレポートではゴルフコースがより長くなっていくという全体的な傾向には、プレーする費用や時間を増加させることによって持続可能性の努力の向上を制限し、コースのチャレンジを減じること - 場合によってはコースを時代遅れにしてしまうリスクを生じさせることを含め、悪影響があるということも分かりました。

2022年の年次ドライビングディスタンスレポート（世界中の7つの男女のプロフェッショナルツアーで報告された飛距離データを統合）もまたリリースされており、[こちら](#)から閲覧できます。

このレポートで提供されたデータは、PGA ツアーのクラブヘッド速度の昨年の平均は 114.6mph、平均打ち出し角度は 10.3 度、平均スピンの量は 2597rpm であったことを示していました。2022年のクラブヘッド速度が最も速い上位 1%の中央値は 127.5mph、上位 5%の中央値は 124.2mph でした。

この年次ドライビングディスタンスレポートでは、ジャパングolfツアーと LPGA ツアーを除くすべてのツアーを通じてこれまでの記録で最も高い飛距離を報告し、7つのすべてのツアーの前年比での飛距離の増加は平均 4%であったことも報告しています。コーンフェリーツアーは、307.8 ヤードというすべてのツアーを通じた最も高い年次平均飛距離を記録しました。

さらなる情報は www.RandA.org と www.usga.org にアクセスしてください。

以上

編集者への注：

The R&A について

この文書における The R&A への参照は R&A ルールズリミテッドについて言及しています。スコットランド、セントアンドリュースに本拠地を構える The R&A と USGA は、それぞれ別の管轄下で運営しながらも、ひとつのゴルフ規則、アマチュア資格規則、そして用具基準を施行することで、共同してゴルフというスポーツを世界的に統轄しています。The R&A はアメリカ合衆国とメキシコを除く全世界でこのスポーツを管轄しており、161 のアマチュアやプロフェッショナルの団体の同意を得て、145ヶ国で 3,600 万人を超えるゴルファーのために活動しています。

The R&A はこれから先 10 年間でゴルフの発展のために 2 億ポンドの投資を行うことを目指しており、持続可能なゴルフ施設の開発と管理を含め、このスポーツが国際的に成長する支援を行います。さらなる情報は www.randa.org にアクセスしてください。

USGA について

USGA はゴルフというゲームを称賛し、仕え、促進する非営利団体です。1894年に創設され、私たちは U.S.オープンや U.S.女子オープンを含め、ゴルフにおける最高峰のプロフェッショナルやアマチュアの多くの選手権を実施しています。The R&A と共に、私たちはプレー、用具、ハンディキャップ、そしてアマチュア資格のグローバルなセットを通じてこのスポーツを統括しています。ニュージャージー、リバティーコーナーにある USGA キャンパスは、科学とイノベーションが将来に向けた健全で持続可能なゲームを支持するこの協会の研究テストセンターの所在地です。このキャンパスは世界的に最も包括的なゴルフの遺物のアーカイブを収集することでこのゲームを称賛している USGA ゴルフミュージアムの拠点でもあります。さらなる情報は www.usga.org にアクセスしてください。

Media Contacts: メディア連絡先 :

Mike Woodcock, Director of Corporate Communications, The R&A
mikewoodcock@randa.org; +44(0)7584 071246

Janeen Driscoll, USGA Director, Brand Communications
jdriscoll@usga.org; 910-690-9711